

世田谷

ファミサポ通信

世田谷区ファミリーサポートセンター

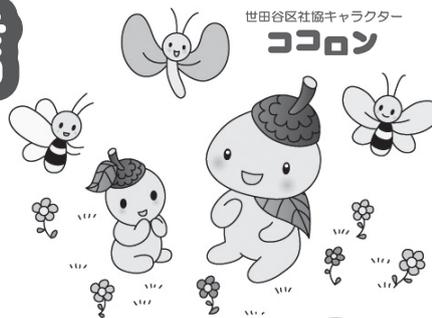
開所時間：午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分（土日祝日、年末年始を除く）

〒157-0066 世田谷区成城 6-3-10 4階

電話：03-5429-1200 FAX：03-5429-1202

ホームページ：<https://www.setagayashakyo.or.jp/service/kosodate/>

世田谷区ファミリー・サポート・センター事業は、世田谷区から世田谷区社会福祉協議会が受託運営しています。



世田谷区協キャラクター
ココロ

第17号

令和3年3月

各種研修会・交流会等を開催しました！



11/13 (金)

ファミサポ はじめの一步

「おかあさんもいっしょ」
援助会員さんと事前
打ち合わせを体験



11/19 (木)

会員交流会

「ヨガでリラックス」
大人も子どもも一緒に
楽しみました



12/23 (水)

子育て支援講座

「ママパパとのよりよい
コミュニケーションのために」
オンライン(ZOOM)と
会場での二元開催



御礼

サミット株式会社様に、
「子育て支援者養成研修」の
チラシ配布やポスター掲示
にご協力いただいています。

この場をお借りして御礼
申し上げます。



周知にご協力ください！

世田谷区ファミリーサポートセンターでは、広く援助会員に
なってくださる方を募集するため、「子育て支援者養成研修」
等のチラシ配布やポスター掲示にご協力いただける個人宅や店
舗を探しています。ご協力可能な方はセンターまでご連絡くだ
さい。またお知り合い等でご協力いただける方がいらっしゃい
ましたら、ぜひご紹介ください。



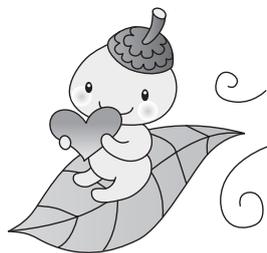
令和2年度 援助会員登録更新・アンケートへのご協力ありがとうございました

皆さまからいただいたご意見を参考に、今後の事業運営に反映させていただきます。

1. 援助会員として活動してよかったことは何ですか（複数回答可）

- ① 541 子育て世帯のサポートができた
- ② 424 子どもと接する機会ができた
- ③ 233 生活にはりができた
- ④ 173 健康維持に繋がっている
- ⑤ 155 未活動のためわからない
- ⑥ 66 自身の孫と接するうえで役立っている
- ⑦ 28 その他（何組もの若いご夫婦と親しくなれた、登録の際の研修内容が良かった等）
- ⑧ 1 よかったと思えることはない

単位：人



2. 活動に対して、日頃気をつけていることは何ですか？（複数回答可）

- ① 617 安全面（ケガ、災害、アレルギー、病気等）
- ② 420 援助会員自身の体調、体力面
- ③ 337 保護者との意見交換について（しつけ、習慣等）
- ④ 279 急なキャンセルをしない
- ⑤ 253 子どもとの接し方（イヤイヤ期、障害を持っているお子さん等）
- ⑥ 201 安全チェックリストの再確認
- ⑦ 161 乳児への対応（うつぶせ寝等）
- ⑧ 142 ファミサポ担当との連携・協力（援助活動報告書裏面にて活動報告含む）
- ⑨ 117 利用会員の要望（日時等）に対応しづらい時の断り方
- ⑩ 107 お金（謝礼金受け渡し時等）のトラブル
- ⑪ 13 その他（時間を守る、プライベートを守る等）

単位：人

～ お願い ～

援助活動報告書の書き方について

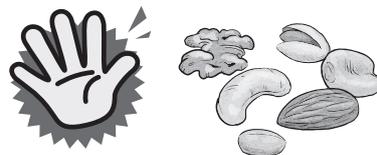
- ◎会員番号は必ずご記入ください
- ◎「年」は和暦（令和で表記）02年、03年の〇〇月と記入。
「日にち」の部分には、1マスに1字ずつ数字をご記入ください。
- ◎依頼がキャンセルになった場合は、【会員のしおり（P16）記入例】のとおり、キャンセル料の発生がわかるように報告書へご記入ください。
- ◎返信用封筒の有効期限をご確認の上、期限を過ぎたものは使用しないでください。

気管支炎や肺炎を起こすおそれも 硬い豆やナッツ類等は5歳以下の子どもには食べさせないで

厚生労働省の人口動態調査によると、平成26年から令和元年までの6年間に、食品を誤嚥（ごえん）して窒息したことにより、14歳以下の子どもが80名死亡しています。そのうち5歳以下が73名で9割を占めていました。

特に注意が必要なのは、奥歯が生えそろわず、かみ砕く力や飲み込む力が十分ではない子どもが豆やナッツ類を食べると、のどや気管に詰まらせて窒息してしまったり、肺炎を起こしたりするリスクがあることです。また、口の中に豆類が入ったまま走る、寝転がる等の運動を行ったり、リクライニングしながら食べたりすると咽頭に入り込みやすくなり、窒息・誤嚥のリスクが高くなることや、豆類が小さかったり、呼吸中など気道が広がっていたりすると、喉頭や気管まで入り、窒息のリスクが更に高くなるのが分かっています。

窒息・誤嚥事故防止のため、注意しましょう。



年度末のため、3月分の報告書は3月31日までにご投函くださいますよう、ご協力をお願いします。

令和3年度 第1回子育て支援者養成研修が始まります

お近くに子どもが大好きな方、子育て支援に関心がある方はいませんか？
 援助会員として活動を希望する方を対象に、安心安全にお子さんをお預かりするために必要な6日間（計24時間）の研修を実施します。
 子育て援助活動に関心のある方にお声かけください。

日 程	① 5/14(金) 10:00～15:30	② 5/17(月) 9:30～15:10
	③ 5/18(火) 9:30～13:10	④ 5/20(木) 9:30～15:30
	⑤ 5/28(金)または31(月) 9:30～13:00	
	⑥ 6/3(木) 10:00～15:00	受講料 2,000円(テキスト代)
	会 場	梅丘地区会館第1・2会議室(梅丘1-61-16 梅丘複合施設2階)



※参加できない日程がある場合はご相談ください

利用会員として登録している方もぜひ援助会員にご登録ください！

利用会員と援助会員の両方に登録している「両方会員」が70名いらっしゃいます(令和3年2月末現在)。「自分の子どもに友だちができた」「ママ友が増えた」「研修で子育てに関する知識や技術が身についた」など、メリットもたくさん！

ぜひ上記の「子育て支援者養成研修」に参加し、援助会員として登録をお願いいたします！！



フォローアップ専門研修(緊急救命講習及び事故防止)受講のお願い

令和元年度より、厚生労働省が定める「ファミリー・サポート・センター事業運営基準」の変更に伴い、援助活動を行う方は、5年に1回受講することが義務となりました。令和3年度は、この講習会を6回実施する予定です。平成28年度までに登録し、現在活動中または利用会員を紹介されている方でまだこの研修を受講されていない方は受講するようお願いいたします。対象者には5月頃、直接通知を郵送します。

令和3年10月より世田谷区ファミリー・サポート・センター事業が一部変更になります

○利用会員が援助会員を紹介されたら実際の利用前に行う「事前打ち合わせ」について、1回当たり500円の謝礼を援助会員に支払うようになります。(変更時期は令和3年10月予定)

○令和2年度から登録説明会は実施せず、利用会員登録方法を変更していますが、令和3年10月からは、WEB上で利用会員登録希望の入力や申込書の印刷ができるようになる予定です。

※今後、より多くの利用会員が希望にそって利用しやすい環境を整え、援助会員が安全に安心してお子さんをお預かりするために、預かり時間や回数等について一定の枠を定めるなど検討しています。内容や実施時期などが決まり次第、HPやメールマガジン等でお知らせします。



ファミサポ利用中!!



会員さんにインタビュー!

☆ 利用会員 松本さん (Aくん9カ月)

*利用のきっかけはなんですか?

資格を取るために通学したり、自宅で勉強しているとき、3時間の見守りをお願いできないかと思ったことがきっかけです。

*初めてお会いしたとき(事前打ち合わせ)はいかがでしたか?

スムーズにわかりやすく進めていただきました。息子へ優しく関わってくださり安心できました。

*利用してみていかがでしたか?

石毛さんのお家でその都度できる遊びが増えて、お別れした後もニコニコしています。その姿を見るとうれしくて、利用してよかったと思います。

*これから利用する方にひとことお願いします。

育児以外の時間が確保できてリフレッシュできることはもちろんですが、子どもにとっても地域に信頼できる方が増えることは心強いと感じています。

*援助会員さんにひとことお願いします。

いつも愛情たっぷり子どもに関わってくださり、ありがとうございます。コロナ禍でも預かっていただけることに感謝しています。今後ともよろしくお願いします。



☆ 援助会員 石毛さん

*活動してみてよかったことは?

3年前に援助会員になりました。

元々、子どもと接するのが好き。自分の孫たちは他県に住んでおり、直接会って遊ぶことはなかなかできないため、周囲のママさんたちの子育ての援助ができることを大変うれしく思います。

利用会員さんから感謝していただけて、充実した1日を過ごせて、やりがいを感じます。

お子さんのちょっとした成長(ハイハイするようになったとか、アーって言うようになったとか)を話題に、ママさんたちとコミュニケーションがとれるのも私にとってはうれしい時間です。

*利用会員さんにひとことお願いします。

初めての子育ての中、少しの時間も無駄にせず、ご自分の将来のために資格受験の勉強をされているママさんを応援しています。

Aちゃんはずごくかわいいです。これからもAちゃんの成長をずっと見守りたいと思います。



せたがや生活応援マガジン「おとな・り(re)」17号(令和3年春号)で
ファミリー・サポート・センター事業が紹介されました

援助会員のインタビューや活動風景、シニア援助会員の自主活動「八重の会」の紹介など、見開きページにもりだくさんの内容が掲載されています。区内公共施設や窓口などで無料配布しています。ぜひお読みください!